



平田 要

能勢銀寄栗の 世界農業遺産登録申請

問 世界・日本農業遺産登録申請に至る経過について問う。

答 環境省の「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト事業の採択を受け関係団体との取組みの過程において、人口減少、農家の高齢化が進行する中で、栗栽培を中心に地域の農林業の伝統と価値を再認識し、農家の自信と誇りを礎に、大都市近郊で豊かな生物多様性を育む能勢の栗山システムを未来に継承していくための手段として、農業遺産認定をめざすものです。

問 登録申請の行程について問う。

答 農林水産省が設置する世界農業遺産等専門家

一、能勢銀寄栗の世界農業遺産登録申請 二、ジビエ利用モデル地区

会議により、一次審査の結果は8月目途に通知され、その後の二次審査を受け、平成31年1月の通知後、世界農業遺産への認定申請に係る承認を行う地域であるか、日本農業遺産の認定かの決定が下される。

問 認定された場合の経済的な効果について問う。

答 銀寄栗が育ってきた里山の継続により能勢銀寄栗の知名度が上がり、益々日本中、また世界中に広く知れ渡り、付加価値は高まると考える。

問 町の有害鳥獣捕獲事業との連携について問う。

答 猟友会能勢支部や大阪府の有害鳥獣の所管部署とも連携調整を図り、当該ジビエモデル構想協議会と連携のできる部分については協力支援していく。

ジビエ利用モデル地区

問 京丹波・大阪北摂(能勢町)地区の計画概要と進捗について問う。

答 民間工商业者、金融機関、京都府内の自治体で構成する京丹波・大阪北摂連携ジビエモデル構想協議会が事業実施主体となり、農林水産省の鳥獣被害防止総合対策事業に対し事業申請し、平成30年5月に事業採択を受けたと聞いている。

問 町の有害鳥獣捕獲事業との連携について問う。

答 猟友会能勢支部や大阪府の有害鳥獣の所管部署とも連携調整を図り、当該ジビエモデル構想協議会と連携のできる部分については協力支援していく。



長尾 義信

子どもの 安全対策の推進

問 通学路等における事件・事故の発生を防止するための児童・生徒に向けての取り組みを問う。

答 交通安全教室、防犯及び不審者対応の訓練を年一回、通学路安全点検については、PTA協力のもと必要に応じて豊能警察池田土木事務所等による合同点検を実施している。

また、防犯対策等として防犯カメラを数年にかけて設置していきたい。



指定管理制度導入 施設の管理運営

問 指定管理制度導入に関する考え方を問う。

答 民間事業者等の施設管理のノウハウを活用することにより、質の高い住民サービスの提供や施設の稼働率の向上、さらには、経費の節減が見込まれる施設を対象に、現在5施設に導入をしている。

また、防犯対策等として防犯カメラを数年にかけて設置していきたい。



- ・ふれあいセンター
- ・東部デイサービス
- ・観光物産センター
- ・けやき資料館
- ・B&G海洋センター

住みたい・住み続けたい まちづくりの実現を

能勢町 駅伝大会等の開催

問 11月18日、今年3年目で最後の近畿高校駅伝競走大会が開催される。ぜひ、この競技大会を契機にスポーツを通してまちづくり、交流人口を増やすために駅伝等の大会を開催出来ないか、今回も引き続き問う。

答 町体育連盟をはじめとする関係機関と協議をしながら進めていきたいと考えている。

